

# RSI-001 Release note

2019.9.18 Micronet

## RSI-001 version 6.41

### 1. 更新 Update

本インストーラに適用されているコードサイニング証明書<sup>(※)</sup>を更新しました。

※ コードサイニング証明書はソフトウェアにデジタル署名を行う電子署名用の証明書です。

ソフトウェアの配布元を証明し、なりすましや内容の改ざんなどがされていないことを保証し、ソフトウェアの完全性を証明します。

## RSI-001 version 6.4

### 1. 修正された問題 Fixed Problem

-----  
ハードウェアフロー制御モード動作時のカーネルフリーズ障害 [KB-6232]

ハードウェアフロー制御モード設定に限り INtime<sup>®</sup>カーネルを暴走させる割込み処理の不具合を修正しました

ポーリング動作モード設定が認識されない障害 [KB-6232]

ポーリング動作/割込み動作の設定が正しく反映されない可能性ある不具合を修正しました

C++言語での API 参照宣言の誤り

C++言語からの利用が考慮されていなかった API ヘッダファイルを修正しました

### 2. 新しい機能 New Feature

-----  
モデム信号状態を取得する rs\_get\_modem\_status API を追加しました

**WORD** rs\_get\_modem\_status ( **WORD** channel, **WORD** \*status )

channel ... 対象チャンネル番号 (0~7)

\*status ... API ステータスコードが格納されます

戻り値 **WORD** b7-b4 にモデム信号状態ビットが返却されます (b3-b0 は不定値)

b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
C D	R I	DSR	CTS	-	-	-	-

未送信バッファをクリアする rs\_clear\_tx API を追加しました

**void** rs\_clear\_tx ( **WORD** channel, **WORD** \*status )

channel ... 対象チャンネル番号 (0~7)

\*status … API ステータスコードが格納されます

未受信バッファをクリアする rs\_clear\_rx API を追加しました

void rs\_clear\_rx ( WORD channel, WORD \*status )

channel … 対象チャンネル番号 (0~7)

\*status … API ステータスコードが格納されます

## RSI-001 version 6.3

1. CONTEC COM-2PD-EP RS-422/485 2ch 拡張 PCI Express ボード対応

2.INtime®6.3 対応

## RSI-001 version 6.2

1. 修正された問題 Fixed Problem

-----  
起動時処理の改善

INtime IO Service の状況により、起動直後直ちに終了してしまう可能性があった点に対処

## RSI-001 version 6.1

1. 新しい機能 New Feature

-----  
通信速度追加

対応するボーレート (153600 ,184320 ,230400 ,307200 ,460800 ,921600bps) の追加

インストーラの改善

setup.exe から RSI001Setup.msi へ変更

## RSI-001 version 6.0

1. 新しい機能 New Feature

-----  
動的ライブラリ対応

RSI001.rta に含まれるライブラリを RSDRVIF.DRV に分離し、動的に読み取るようになりました。

マニュアル分離

マニュアルをセットアップマニュアルと API リファレンスマニュアルの二つに分離しました。

## インストーラの構成変更

インストーラの構成 (setup.exe) を実行環境の構築のみに変更しました。

## 製品イメージの変更

実行環境をまとめた「rt」フォルダ、開発環境をまとめた「sdk」フォルダ、サンプルファイルをまとめた「sample」フォルダの構成に変更しました。

## 2. 修正された問題 Fixed Problem

-----  
なし

# RSI-001 version 5.10

## 1. 新しい機能 New Feature

### 184,320bps のサポート

COM2PD (PCI) ボード使用時に、ボーレート 184,320bps が指定できるようになりました。

### 送受信処理の高速化

送信、受信における処理完了は 10ms 単位で判定していましたが 1ms 単位へ細分化しました。

## 2. 修正された問題 Fixed Problem

-----  
[KB-1327] ラインコントロール制御関数リファレンスの訂正

ユーザーズマニュアル rs\_line\_control 関数リファレンスにおける DTR 制御の説明誤りを訂正しました 3002

※TenAsys<sup>®</sup>, INtime<sup>®</sup>, eVM<sup>®</sup> and iRMX<sup>®</sup> are registered trademarks in USA of the TenAsys Corporation.